

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第3区分
 【発行日】平成27年3月19日(2015.3.19)

【公表番号】特表2014-517856(P2014-517856A)
 【公表日】平成26年7月24日(2014.7.24)
 【年通号数】公開・登録公報2014-039
 【出願番号】特願2014-506475(P2014-506475)
 【国際特許分類】

C 0 8 F 2/50 (2006.01)

C 0 9 B 23/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 F 2/50

C 0 9 B 23/00 J

【手続補正書】

【提出日】平成27年1月29日(2015.1.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

三次元ミクロ構造の形成方法であって、

アクリレートモノマーを含むプレポリマー、及び、少なくとも1つのジスチリルベンゼン染料を含む多光子光開始剤系、を含有する光硬化性組成物を提供する工程と、

前記光硬化性組成物の少なくとも1つのボクセルを、ある容積を有する三次元ミクロ構造の少なくとも1つの固体ボクセルを感光的に形成するのに効果的な条件下にて、ある照射量の電磁エネルギーに画像露光する工程であって、前記固体ボクセルの容積が、前記照射量に反比例して変化する工程と、を含む、方法。

【請求項2】

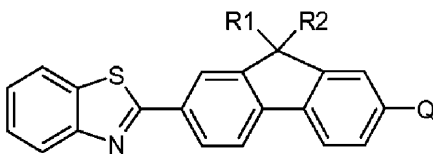
三次元ミクロ構造の形成方法であって、

アクリレートモノマーを含むプレポリマー、及び、

式： $(T-Q)_n - N - Ph_m$

〔式中、Qは単結合又は1,4-フェニレンであり、Phはフェニル基であり、nは1~3であり、mは(3-n)の値であり、(T-Q)は式：

【化1】



〔式中、Qが単結合であり、かつnの値が2又は3であるとき、R₁及びR₂が1~20個の炭素原子を有するアルキル基である〕

を有する少なくとも1つの発色団を含む多光子光開始剤系を含む光硬化性組成物を提供する工程と、

前記光硬化性組成物の少なくとも1つのボクセルを、ある容積を有する三次元ミクロ構造の少なくとも1つの固体ボクセルを感光的に形成するのに効果的な条件下にて、ある照

射量の電磁エネルギーに画像露光する工程であって、前記固体ボクセルの容積が、前記照射量に反比例して変化する工程と、を含む、方法。

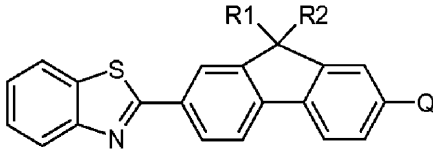
【請求項3】

アクリレートモノマーを含むプレポリマー、及び、

少なくとも1つのジスチリルベンゼン染料又は式：(T-Q)_n-N-Ph_m

[式中、Qは単結合又は1,4-フェニレンであり、Phはフェニル基であり、nは1~3であり、mは(3-n)の値であり、(T-Q)は式：

【化2】



(式中、Qが単結合であり、かつnの値が2又は3であるとき、R₁及びR₂が1~20個の炭素原子を有するアルキル基である)である]

で表される少なくとも1つの発色団を含む多光子光開始剤系、を含む光硬化性組成物を含む多光子樹脂系であって、

前記光硬化性組成物の少なくとも1つのボクセルを、ある容積を有する三次元ミクロ構造の少なくとも1つの固体ボクセルを感光的に形成するのに効果的な条件下にて、ある照射量の電磁エネルギーに画像露光し、前記固体ボクセルの容積が、照射量に反比例して変化する、多光子樹脂系。